

健康・福祉関係

<p>件名</p>	<p>新型コロナワクチン接種の推進について</p>
<p>内容</p>	<p>白井市は、9月20日から世界でも突出している7回目のワクチン接種が推進されているようですが、これに対して、本当の専門家はその危険性について警鐘を鳴らしています。</p> <p>仮に接種を広報するにしても、それに対してのリスクについての情報展開がされていないのは行政として市民への正確な情報を知らせるというスタンスに欠けるのではないかと思います。</p> <p>泉大津市の南出市長という方は、ワクチンによるリスク情報も合わせて展開し、市民に慎重に判断して対応してほしいというスタンスを取っている。白井市でも最低限そのような対応を取るべきだと思います。</p> <p>ワクチンによる副反応では相当数の死者が出ている。副反応で苦しんでいる国民の数は数十万から数百万人に上るのではとの情報もある。そんな危険なワクチン、毒物を生後半年という乳児らに接種を進める案内を普通のお知らせと同等に発信している感覚が非常に疑問です。</p> <p>既に手遅れかもしれないが、今一度立ち止まって白井市としてのワクチン接種事業の見直しをして欲しいです。</p> <p>また、マスクに関しても相変わらず小学生、中学生でしている状況にありますが、人間の脳は、息苦しさや、身体の痛みなどには順応するようになっており、次第に息苦しさも感じ無くなるが、それは感覚だけの事で、脳細胞への酸素不足は継続しており、日々脳細胞の死滅は進行している状態になっています。</p> <p>その子供たちが20歳や高齢になった際に、今のマスクをしていたことが原因で軽度の認知症を発症する懸念は十分にあると言われており、このようなことから、教育現場を通じてその危険性について十分な指示を行って頂きたいものです。</p> <p>早急に何らかの行動を期待します。</p>
<p>回答</p>	<p>市では、ワクチン接種の有効性や副反応について、厚生労働省のホームページなど公的機関が発表している情報を十分に御確認いただき、接種の判断をしていただくよう市ホームページ等で周知を行うほか、ワクチン接種は任意であり、強制ではないことを接種券同封の案内文で周知しており、重症化予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で接種の判断がされるよう、今後とも情報の提供に努めてまいります。</p> <p>また、小学生、中学生のマスク着用について、現在は、学校生活全般にわたり原則不要としており、教職員には、個人の判断を尊重するとともに、着用の有無による差別や偏見等が起こらないよう留意することを通知しております。</p>